

2024 年 3 月 28 日

「サステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結に関するお知らせ

相鉄ホールディングス株式会社

相鉄ホールディングス(株)（本社・神奈川県横浜市西区、社長・滝澤 秀之、以下・当社）は、サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワークを策定し、同フレームワークに基づき、シンジケーション方式の当社初となる「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約（以下・本件）を締結しました。

詳細は、以下のとおりです。

1. 「サステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

① 本件締結の目的・背景

相鉄グループは、1917 年の創立以来、鉄道業と横浜駅周辺および沿線地域の積極的な開発、そしてその地域での快適な暮らしをサポートする商品、サービスの提供を通じて事業を拡大しています。2021 年 11 月には新たなグループ長期ビジョン「Vision2030」の策定と併せて、「サステナビリティの追求」による長期的な企業経営の維持および持続的な社会の実現への貢献のため、「相鉄グループサステナビリティ方針」を策定、事業活動に伴う環境負荷低減を図るとともに、商品・サービスの提供を通じて、社会全体の環境不可低減に向けた取り組みを実践しています。

2024 年 2 月には、「環境方針」、「環境ビジョン」、「カーボンニュートラルチャレンジ」を策定し、2050 年度に CO2 の排出量と吸収量を均衡させるカーボンニュートラルを達成すること、2030 年度における CO2 排出量をグループ連結で 42%削減（2020 年度対比）、鉄道業で 46%削減（2013 年度対比）することを目指す脱炭素社会に向けた目標を設定しました。

このたび、こうした当社の取り組み推進のため、サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワークを策定し、サステナビリティ・リンク・ローンによる資金調達を決定しました。

② 本件（シンジケートローン）の概要

契約締結日	2024 年 3 月 26 日
組成金額	270 億円
アレンジャー兼エージェント	三井住友信託銀行(株)
セカンドオピニオン	(株)格付投資情報センター
貸付人（五十音順）	(株)池田泉州銀行、(株)関西みらい銀行、(株)紀陽銀行、 (株)京都銀行、(株)群馬銀行、(株)山陰合同銀行、(株)七十七銀行、 (株)中京銀行、三井住友信託銀行(株)、(株)りそな銀行

2. サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク策定および外部評価の取得について

① サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク策定

当社は本件の契約締結にあたり、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）などが定めた「サステナビリティ・リンク・ローン原則 2023」、国際資本市場協会（ICMA）が定めた「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2023」、ならびに環境省が定めた「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022 年版」および「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン 2022 年版」（以下「サステナビリティ・リンク・ローン原則など」）に則したサステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワークを策定しました。

・サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク

<https://cdn.sotetsu.co.jp/media/2024/sustainability/sustainability-finance/framework.pdf>

② 外部評価の取得

サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワークについて、2024 年 3 月 26 日付で(株)格付投資情報センター（本社・東京都千代田区、社長・山崎 宏）より、サステナビリティ・リンク・ローン原則などへの適合性について、セカンドオピニオンを取得しています。

・(株)格付投資情報センター（R&I）による外部評価（セカンドオピニオン）

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>

③ KPI および SPT の概要

本件は、以下の KPI と SPT を設定しています。

KPI	SPT	SDGs
相鉄グループ（※） における CO2 排出量 （Scope1+2）の削減率	相鉄グループにおける CO2 排出量を 2030 年度までに 2020 年度対比 42%削減 すること。	 

※ 当社および国内の連結子会社を対象

以 上